



トランプ政権をどう評価するか？

—2020年大統領選挙への視座と重要論点—

2019年10月24日（木）18:30～20:00／ベルサール六本木コンファレンスセンター

〈プログラム〉

18:30 開会

登壇者紹介

18:35～18:45 開催趣旨・問題提起

久保文明（東京財団政策研究所上席研究員／東京大学大学院法学政治学研究科教授）

18:45～19:30 発表

梅川 健（首都大学東京法学部教授／プロジェクトメンバー）

「トランプ政権における三権の対立・協力関係の特徴」

松井孝太（杏林大学総合政策学部専任講師／プロジェクトメンバー）

「2020年大統領選挙に向けたトランプ政権評価と民主党の動向」

中林美恵子（早稲田大学社会科学総合学術院教授／プロジェクトメンバー）

「FY2020 予算編成における米議会とトランプ政権」

19:30～20:00 討論・質疑応答

20:00 閉会

〈登壇者略歴〉

敬称略

久保 文明 東京財団政策研究所上席研究員（「2020年アメリカ大統領選挙と日米経済関係」プロジェクトリーダー）／東京大学大学院法学政治学研究科教授 ※モデレーター

東京大学卒業、法学博士。東京大学法学部助手、筑波大学社会科学系講師・助教授、慶應義塾大学法学部助教授・教授を経て、東京大学大学院法学政治学研究科教授。2009年、パリ政治学院招聘教授。2014年、米ウッドロー・ウィルソンセンター研究員。そのほか、日米文化教育交流会議（カルコン）委員、慶應義塾大学客員教授、日本国際問題研究所客員研究員などを兼任。主な著書に、『アメリカ政治史』（有斐閣）、『アメリカにとって同盟とはなにか』（編著、中央公論新社）、『アメリカ大統領の権限とその限界——トランプ大統領はどこまでできるか』（東京財団政策研究所監修、久保文明・阿川尚之・梅川健編、日本評論社）、など多数。

中林 美恵子 早稲田大学社会科学総合学術院教授／プロジェクトメンバー

大阪大学にて博士号（国際公共政策）、米国ワシントン州立大学にて修士号（政治学）取得。専門分野は、アメリカ政治、国際公共政策、日米の予算編成。米国マンスフィールド財団名誉フェロー

を兼務。米国在住 14 年間のうち、1992 年に永住権を得て、アメリカ連邦議会・上院予算委員会補佐官（米公務員）を約 10 年間務める。2002 年に帰国し（独）経済産業研究所研究員、米ジョンズ・ホプキンス大学客員スカラー、跡見学園女子大学准教授、中国人民大学招聘教授等として研究を行い、財務省・財政制度等審議会、文部科学省・科学技術学術審議会（評価委員会と国際委員会）、経済産業省（資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会と独立行政法人評価委員会）等の公職、および衆議院議員（09～12）を経て、2013 年に早稲田大学准教授、2017 年より教授。著書に『トランプ大統領とアメリカ議会』（日本評論社）、『トランプ大統領はどんな人？』（幻冬舎）、『グローバル人材になれる女性（ひと）のシンプルな習慣』（PHP 研究所）、『オバマのアメリカ・どうする日本』（三和書籍）など。1996 年アトランタ・オリンピック聖火ランナー。

梅川 健 首都大学東京法学部教授／プロジェクトメンバー

東京大学法学部卒業、同大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程修了、博士（法学）。イェール大学フォックス・インターナショナル・フェロー、イェール大学比較研究センター客員研究員を経て、2013 年、首都大学東京に准教授として着任。2017 年より現職。研究テーマは現代アメリカ政治、大統領制。主な著作に『大統領が変えるアメリカの三権分立制——署名時声明をめぐる議会との攻防』（東京大学出版会）、『アメリカ大統領の権限とその限界』（東京財団政策研究所監修、久保文明・阿川尚之・梅川健編、日本評論社）など。

松井 孝太 杏林大学総合政策学部専任講師／プロジェクトメンバー

東京大学法学部卒業、同大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程単位取得退学。イェール大学フォックス・インターナショナル・フェロー、イェール大学政治学部客員研究員、杏林大学 CCRC 研究所特任助教を経て、2016 年より現職。研究テーマは現代アメリカ政治、社会保障・労働政策。主な著作に「アメリカ公共部門労働者の組織化をめぐる政党間対立—団体交渉権付与・剥奪の計量分析を中心に—」（『杏林社会科学研究』）、『高齢者法 —長寿社会の法の基礎—』（樋口範雄・関ふ佐子編、東京大学出版会）など。